

「令和7年度当初予算の編成について」ポイント

令和6年10月8日

1 令和7年度当初予算編成の基本方針

- 青森新時代に向けては、対話を政策展開の中心に据えながら、基本計画をはじめ、将来のビジョンやそのための道筋を示しており、これらに基づく取組を着実に推進する必要
- 「産業基盤の強化による所得向上」「いのちとくらしを守る基盤の強化」「こどもまんなか社会の実現」を最優先に、**基本計画に掲げる7つの政策テーマに基づく各種施策**について、
 - 県民対話集会「#あおばな」などで寄せられた**県民の声に真摯に耳を傾け**、県民目線に立って事業を構築する。
 - 組織や分野の枠を越え、**前例や固定観念にとらわれない**新たな手法や**革新的な**発想で、効果的かつ効率的な事業を構築する。
 - 市町村をはじめ、あらゆる主体と役割分担、連携・協働しながら、**県全体で広がりのある取組**をめざす。
- **政策資源を集中**するという観点から、特に新規事業の立案に当たっては、既存事業の**積極的な見直し、廃止**を徹底
- 重要施策の着実な推進、緊急的な課題に機動的な対応が可能となるよう**持続可能な財政運営を継続**（財政調整用基金の取崩額をゼロとする収支均衡や県債残高の縮減）

2 令和7年度見積目安額の設定①

(1) 部局政策経費

経費区分にかかわらず**重要な施策に政策資源を集中**するとともに、各部局による経費全般を通じた**事業の整理・合理化を一層促進**

➤ 各部局の予算編成についての裁量を強化するため、これまで特別な予算要求枠としていた**基本計画重点枠事業費を廃止し、部局政策経費に移行**

➤ 従前の部局政策経費は**ゼロシーリングを継続**

	削減率
・政策的経費（政策的検討を要する経費）	±0.0%
・経常的経費（固定的な管理運営等経費）	±0.0%
・貸付金	±0.0%

(2) AX（青森大変革）対応経費

AX（Aomori Transformation）の基本理念に基づく青森大変革に資する**新機軸の政策展開**に必要な取組（部局政策経費の見直しの徹底だけでは対応できないもの）については、**予算編成過程で対応**

2 令和7年度見積目安額の設定②

(3) 公共事業関係費

- 原則として、**地方負担（県債＋一般財源）**ベースで前年度当初比±0%の見積目安額を設定（災害公共事業費は所要額で見積り）
- 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」については国の予算編成の状況を踏まえ、予算編成過程で対応
- 令和6年度と同様に自然災害防止等のための緊急的な安全対策に係る取組については、別枠で対応

(4) 施設等整備費

公共施設等の老朽化対策等を着実に推進していくため、公共施設等適正管理推進事業債等を積極的に活用しつつ、所要の見積目安額を設定

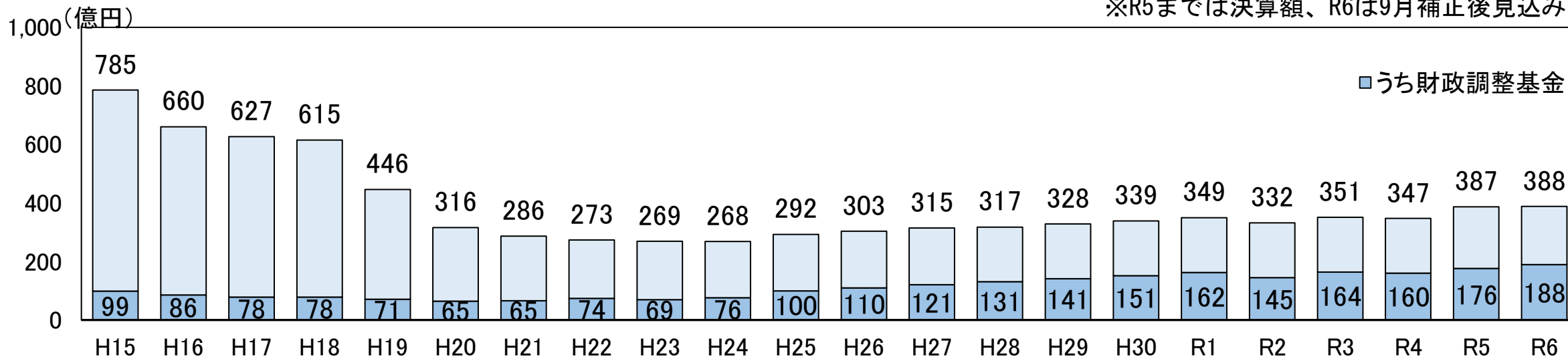
(5) 緊急課題・行財政改革対応経費

緊急的な課題や行政DXをはじめとする行財政改革に対応するための経費について、所要の見積目安額を設定

(参考) 財政調整用基金及び県債残高の状況

① 財政調整用基金残高の推移

※R5までは決算額、R6は9月補正後見込み



② 県債残高の推移

※R5までは決算額、R6は9月補正後見込み

